

メッセージアウトライン

ヘブル人への手紙 12:1 ~ 3「信仰生活の秘訣」

11 章では旧約時代のさまざまな信仰者たちの名前があげられている。彼らはそれぞれの時代において神を信じ、神に導かれ、神により頼んで地上の人生を全うした。信仰によって力ある働きをした人々もあれば、また信仰のゆえに迫害され、殉教した人々もいる。彼らはこの地上を去り、今、神のみもとにいる。しかし眠っているのではない。

[1]彼らは証人となって雲のように私たちを取り巻いている。「証人」とは彼らが弱く小さな者であったのに信仰のゆえに強くされ、力ある働きをし、その生涯を信仰をもって最後まで全うした、そのことの証人であるということ。今日ではさらに多くの先に召されていった信仰者たちも加わって、私たちを取り巻いていることになる。それで「私たちも、いっさいの重荷とまとわりつく罪とを捨てて、私たちの前に置かれている競争を忍耐をもって走り続けようではありませんか」と勧められている。「いっさいの重荷」...私たちの信仰生活を全うすることを妨げる全てのもの。「まとわりつく罪」...私たちの罪深い生き方、習慣等 マルコ 7:20-23 [2-3]信仰生活を全うするための秘訣 「信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい」 イエス・キリストこそ私たちの信仰の創始者であり完成者である。昔、船で航海する時、北極星や南十字星などの星を目印として進路を定めた。私たちもイエスから目を離さないでいると、まっすぐにゴールを目指して進んでいくことができる。

「イエスは、ご自分の前に置かれた喜びのゆえに、はずかしめをものともせず十字架を忍び、神の御座の右に着座されました」 ピロ 2:6-11

イエスは私たち人間の救いという尊い目的を喜びとされ、人々から受ける苦しみやはずかしめをものともせず十字架への道を歩まれ、その十字架の苦しみをも忍ばれた。罪のないお方が罪ある者のために身代わりとなって死なれ、本来私たちが神の前に受けるべき刑罰を負ってくださったのである。

イエスは葬られて三日の後に死よりよみがえられ、多くの弟子たちにご自分の復活の姿を示された。これは彼が死より強いお方であり、彼を信じる者は同様に死んでも復活するとの確証を与えるため。 コリント 15:35-44,56-57

イエスは四十日間多くの弟子たちに数多くの確かな証拠をもってご自分が生きていることを示された後、弟子たちの見ている前で天に上られ、神の右の御座に着座された。 使徒 1:9,ヘブル 1:3

私たちも信仰の歩みにおいて元気を失い、疲れ果ててしまわないために、信仰の創始者であり完成者であるイエス・キリストから目を離さないでいることが大切である。 ローマ 4:6-8, テモテ 6:12

- 1 . ヘブル 11 章に出てくる信仰者たちの名前を挙げてみましょう。
- 2 . 私たちは信仰生活を全うするために何を捨てるべきですか。
- 3 . 信仰生活の秘訣とは何でしょうか。